

2011 年 SPARC プログラム計画

SPARC とは

SPARC (Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition : 学術出版・学術資源連合) は学術知識の共有の拡大を推進する、図書館の会員制組織です。SPARC は、研究プロセスから得られた成果をより迅速かつ広範に共有することで、研究の効果が増大し、知識の向上に拍車がかかり、研究への投資に対する収益率が増加すると確信しています。SPARC は 220 以上もの大学図書館や研究図書館の会員によって支援されており、関連団体である SPARC Europe および SPARC Japan と連携しています。

使命

SPARC は、行動を起こすきっかけを作る組織です。実用的な SPARC のアジェンダは、ネットワーク接続されたデジタル環境を推進する新たな学術コミュニケーションの規範、慣例、ポリシーの誕生を促進し、研究成果の普及を拡大し、図書館の財政的な負担を軽減するため、他の利害関係者と協力するということに重点を置いています。

戦略

SPARC の戦略は、学術知識へのアクセス、学術知識の共有および利用に対する障害を軽減することを重視しています。学術研究成果へのオープンアクセス (OA) を確保するポリシーや慣例の理解と実施を推し進めることが、SPARC の最優先事項となっています。これまで SPARC はジャーナル文献に重点を置いてきましたが、新たな戦略ではデジタルデータや公開教育資源 (Open Educational Resources) など、あらゆる種類の研究成果へのオープンアクセスにますます焦点を当てています。

SPARC の取り組みは、以下の 3 つの主要プログラム領域を軸としています：

1. 学術コミュニケーションが直面している問題および前向きな変化を実現する一翼を担う機会について、**利害関係者を啓発する。**
2. 学術コミュニケーションを推進し、学術知識の普及が研究プロセスにとって切り離すことのできない不可欠な要素であることを明確に認識するような**ポリシーの変更を奨励する。**
3. 学術界および大学にとって利益となるような、新しい出版および持続可能性モデルの**実証を企画する。**

優先事項

SPARC の活動は、オープンアクセスの出版モデルを推進し、学術研究成果を保管することに主に重点を置き、よりオープンな学術システムの、容認と長期的な持続可能性を推進

します。SPARC は、オープンアクセスを学術コミュニケーションにおける規範とするのに必要な、基盤的な変更と文化的な変更の両者を奨励します。

2011 年の主なプログラム優先事項

- キャンパスコミュニケーション資源の拡大
 - OA に関する情報を教授陣に提供する教材を改訂し、拡大する。
 - 業績評価および昇進／終身在職権に関する懸念を軽減することに重点を置く。
 - オープンアクセスのメリットを教授陣に伝えるワークショップ、集中訓練プログラム、研究奨励制度を後援するため、パートナーと提携する。
 - ビジネスプランニング／経済モデルの教材をさらに作成する。
 - 大学レベルでの OA 向けホートン／スワンの経済 ROI モデルの北米高等教育機関への適用を奨励する。
 - 学生によるイニシアチブ（「研究権利連合」(Right to Research Coalition)）を指揮し、教授陣のほか学生にも OA および OER を奨励する。
 - 新しい定期的な SPARC のブログを展開する。
 - 図書館の専門家によるミーティングへの参加を拡大し、SPARC のネットワークを活用して、主要イベントで広く深い取り組みが行えるようにする。
- アドボカシー活動
 - 引き続き、高レベルでのオープンアクセスのアドボカシー活動を主導する。
 - 新たな議会構成に応じて、法的／政策戦略および方策を再調整する。
 - パブリックアクセスに関する議会ミーティング／公聴会に連合メンバーが必ず参加するようにする。
 - 他のグループと提携して、非営利の疾患別グループの立ち上げに関する助言を行い、オープンアクセスポリシーを実施する。
 - 関心事を探求し、州によって助成されている研究出版物のデポジットを推進するための州による取り組みへの戦略を策定する。
 - 新たなポリシーに関し、OER 連合との連携を模索する。
- 国際的なアウトリーチ
 - 主要国際地域でのオープンアクセスに対する支援を拡大し強化する。
 - オーストラリア／ニュージーランド、南アフリカ、ブラジル／中南米、インドおよび中国なども将来的に含めた主要地域／パートナーを特定し、プログラムの世界的な拡大に向けた戦略を明確にする。
 - SPARC のような関連団体の国際的なネットワーク構築を支援する。

- プログラムの枠組みを構築し、地域固有のオープンアクセス組織の創設を促進する。
- 世界の関連団体を調整し活性化する機会として、SPARC が後援する隔年開催のミーティングを活用する。
- 大学を拠点とした出版物のアウトリーチと支援
 - オープンアクセスに関する新規／既存のイニシアチブに対し、持続可能性／ベストプラクティスについての助言を行う。
 - 持続可能性／ベストプラクティスを奨励する資源を作成し、配布する。
 - 図書館、団体、大学出版局間で代替できる出版モデルの立ち上げとインキュベーションを支援するため、パートナーと提携する。
- 北米オープンアクセスミーティングの隔年開催
 - 複数のコースを用意してあるプログラムを構築し、統合ミーティングで出版、リポジトリ、法的問題／著作権の問題、ポリシー、研究者教育、経済学について取り上げる。
 - ヨーロッパでの OAI ミーティングと交互に開催する。
 - デジタルリポジトリに関するミーティングをアジェンダに統合する可能性がある。
 - Open Data、OER、Open Science といった活動パートナーとの連携／教育を推進するための場を作る。

2011 年に継続して行う主な活動

実現戦略—SPARC は以下を行うことにより、組織の安定性と強さを確保するための仕組みを実行します：

- 基礎としてマーケティング・レビューを利用したメンバーの保持と募集を推進する。
- コミュニティおよび技術カレッジコミュニティへのメンバーの拡大を開始する。
- SPARC のプログラムを紹介する内部／外部の定期的な情報提供を行う。
- 学術コミュニケーションの思想的指導者との「館長専用」電話会議を継続する。
- 図書館の専門家によるミーティングで、SPARC メンバー専用のイベントを導入する。
- Web キャスト、データベースを使用した関係管理およびその他の手段により、SPARC ネットワークでのメンバーの関与を高める。

アドボカシー活動／ポリシー戦略—SPARC は以下を行うことにより、連邦政府資金による研究成果へのパブリックアクセスを推進するための非常に明確なイニシアチブを通じ、引

き続きオープンアクセスのパブリックポリシーに関する注目度を高めます：

- オープンアクセスに関する政策立案者を教育するにあたり、OAWG および ATA のアドボカシー活動の取り組みを主導する。
- 議会レベル、行政機関レベル、個々の機関レベルでのパブリックアクセスのポリシー拡大を支持する。
- パブリックアクセスに関する議会ミーティング／公聴会に必ず連合メンバーを出席／参加させるための戦略を展開する。
- 著作権の問題に対するコミュニティの認識を高め、著作権の理由からパブリックアクセスに反対するという議論に反論するための戦略を策定する。
- 連邦政府資金による研究に対するパブリックアクセスの社会的／経済的メリットに関する研究を支援する。
- 大学レベルでの OA 向けホートン／スワンの経済 ROI モデルの北米高等教育機関への適用を奨励する。
- CARL、SPARC Europe、SPARC Japan、eIFL と提携し、主な国際組織間でのオープンアクセス／パブリックアクセスポリシーを支持する。
- キャンパスを拠点とした教授陣主導のオープンアクセスポリシーの導入に対する支援の推進および提供を継続する。
- オープンアクセスポリシーを作成し実施するため、非営利の疾患別グループと連携する（HRA、CURES など）。
- 2011 年に米国で開催される Berlin 9 オープンアクセス会議の編成を支援する。
- オープンアクセスおよび OER ポリシーを支持したメッセージ伝達およびメンバーシップを活用するため、新しい OER アドボカシー活動連合に参加する。
- 現在の支持基盤を超えた支援連合を引き続き拡大する。

キャンパス教育—SPARC は以下を行うことにより、教授陣、研究者、学生と接触して学術コミュニケーションにおける重要な問題について伝えるため、図書館の草の根的なアドボカシー活動の取り組みを実現し、このような取り組みを深めます：

- SPARC による国際オープンアクセス週間（International Open Access Week）の成功を礎として、パートナーとのネットワークを拡大して認識と参加率を高める。
- ACRL、ARL、CARL と提携し、米国およびカナダの Create Change プログラムおよび Web サイト（www.createchange.org）に共同出資する。
- 米国および海外で開催される図書館、出版社、大学、教授陣、学生および研究団体のミーティングで、SPARC の活動を発表する。
- キャンパス・オープンアクセス・ファンドに関する進展を追跡、更新、伝達する。

- 学生およびその他の講演者がキャンパスを訪問することができるかどうかを特定し、彼らにトレーニングを行い宣伝することで、SPARC による一連のパブリックプレゼンテーションを拡大する。
- ピーター・スーバーによって毎月発行される *SPARC Open Access Newsletter* (SPARC オープンアクセス・ニュースレター) および関連する電子メールリストの財政援助を継続する。
- 学術コミュニケーション界において前向きな変化を推進することに成功した主な個人や機関を紹介する、SPARC Innovator Series (SPARC イノベーター・シリーズ) を継続する。
- SPARC の月刊電子ニュースの発行を継続し、図書館員、学生、研究者および政策立案者向けのニュースをコミュニティに逐次報告する。
- ACRL と連携し、年 2 回の ALA フォーラムを主催する。

オープンアクセスおよび学術コミュニケーションの問題に対する意識を高めるための学生キャンペーン—SPARC は以下を行うことにより、急速に拡大するこのプログラムの強化を支援します：

- (財政面および管理面での) かなりの資源を提供して、プログラムの成功を保証する。
- 新しいロゴを作成し最新の Web プレゼンスを構築することにより、「Right to Research」ブランドを強固なものにし、宣伝する。
- 学生連合の国際的な拡大を積極的に探究するため、さらなる助成金支援／パートナー提携を模索する。
- 毎年開催されている第 3 回目の北米「学生リーダーシップサミット (Student Leadership Summit)」を主催し、広く認められている学生リーダーと協力して学生たちと研究成果へのアクセスに関する対話を進めるため、現在の懸念や機会を特定する。
- DC エリアの地元キャンパスと連携し、学校が授業を行っている学期を対象にするよう SPARC のインターンシッププログラムを拡大する。
- 学生たちが他の学生に教えることができるよう、学生を対象とした教材一式を拡大する。
- 毎年開催される第 5 回 SPARKY 賞動画コンテストを主催する。
- SPARC のパートナー団体から著者／編集者をさらに募集することで、学生のスペースにおいて SPARC の学生ブログの機能を高める。
- 連合の国際的な拡大と初めてのヨーロッパ「学生リーダーシップサミット」を支援する。

国際的な活動—SPARC は以下を行うことにより、引き続き学術コミュニケーションおよび

オープンアクセスの国際的発展において極めて重要な役割を果たします：

- SPARC Japan および SPARC Europe と連携し、主な SPARC 国際リーダー間で定期的に対話が行われるようにする。
- OSF および eIFL.net といったその他のパートナーと協力し、既に構築されている強力な国際教育およびアドボカシー活動のネットワークを拡大する。
- CARL、Synergies、CRKN およびカナダ・オープンアクセス・ワーキンググループとのプログラムを通じ、カナダの関係団体と協力する。
- 中国、インドおよびブラジル／中南米の SPARC との提携機会を模索する。現在の SPARC リーダーおよび以前の SPARC リーダーで構成される特別小委員会が行動計画を作成する。

オープンアクセス・インフラ支援—SPARC は以下を行うことにより、デジタルリポジトリおよびオープンアクセスジャーナルの発表の場を推進するうえで、引き続きリーダーシップを発揮します：

- PLoS、OASPA およびその他主要な OA 出版社と積極的に提携し、オープンアクセスジャーナルの発表の場の導入を推進する。
- DuraSpace、Oracle、BePress、ePrints およびその他のパートナーと提携し、コミュニティにとって興味深いテーマに関する Web キャストを展開する。
- SPARC Japan／DRIVER 共同契約のような大規模な国際協調の機会をリポジトリごとに特定する。
- 新たに結成された COAR 連合と提携し、協力関係を構築できる可能性のある領域を特定する。
- 著者の権利保持およびオープンアクセスを保証するためのその他の仕組みを奨励するツールの普及を促進するため、Microsoft などの商品によって急激に高まりつつある関心を探求する。
- データアクセスの問題に関するワークショップおよびシンポジウム、特に米国国立科学財団（NSF）、全米アカデミーおよびサイエンス・コモンズが後援するワークショップおよびシンポジウムに参加する。

著者添付文書および著者の権利キャンペーン—SPARC は以下を行うことにより、非常に明確な著者の権利キャンペーンを引き続き支援します：

- オープンアクセスを対象とした法律入門書に関するクリエイティブ・コモンズとの連携を模索する。

- キャンパスでの展開に合わせ、(サイエンス・コモンズおよびハーバード大学のパートナーとともに) 2007 年の「Open Doors, Open Minds」ポリシーのホワイトペーパーおよび補助的なキャンパスポリシーの資料を改訂および補完する。

出版社との提携およびインキュベーション・プログラム—SPARC は以下を行うことにより、オープンアクセスの有用な事例や他の革新的な出版イニシアチブを引き続き支援・推進します：

- 共同で行動することにより学術団体に利益をもたらすことができる場合は、図書館および非営利の出版コミュニティに共通する課題を明らかにするプログラムに参加する。
- 購読ベースの出版社がオープンアクセスモデルに移行するための移行戦略を模索し、支援する。
- 大学出版局および学術団体と連携し、最近出版されたガイドであるレイム・クロウの現在行われている共同出版プロジェクトに関する検討や、キャンパスをベースとした出版提携のための Web ベース資源を活用する。
- オープンアクセスのモノグラフに関するイニシアチブの概要を作成し、財政的持続可能性モデルに焦点を当てる。
- 学術団体、大学出版局およびその他の非営利出版イニシアチブと連携し、ジャーナル、モノグラフなどの学術コミュニケーションの分野に関して成功した代替出版モデルを紹介するケーススタディを作成する。
- 米国およびカナダの図書館が広く SCOAP3 イニシアチブに参加することを奨励する。
- 出版パートナーとなる可能性のある団体と連携し、図書館が既存の SPARC のガイドを最大限に活用することのできるメタガイドと資源を作成する。